

留 学 報 告 書

記入日:2020年5月18日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ヨーク大学 現地言語: York University
留学期間	2019年8月～2020年4月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	特になし 年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Liberal Arts and Professional Studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年4月22日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～12月下旬 2学期:1月上旬～4月下旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約55,000人
創立年	1959年

留学費用項目	現地通貨 (CA\$)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	7580	580000円	キャンパス内の学生マンション
食費	4000	305000円	meal plan
図書費	450	34000円	
学用品費	130	10000円	
携帯・インターネット費	296	22580円	SIMカードを抜くことができなかったため、100ドルの携帯を買い、それに毎月25ドル支払って契約していました。
現地交通費	0	0円	学内に住んでいたため徒歩圏内でした(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1311	100000円	
被服費	660	50000円	
医療費	0	0円	
保険費	1474	112000円	形態:UHIP 32334円 明治大学保健 80000円
渡航旅費	4600	350000円	
ビザ申請費	120	9200円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	20,621	1,580,000円	1ドル=77円計算 (2020年5月)

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:中部国際空港 目的地:トロントピアソン空港 経由地:バンクーバー
 復路 出発地:トロントピアソン空港 目的地:中部国際空港 経由地:バンクーバー

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社:_____

料金:_____

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:エアカナダとアメリカン航空 料金:140,000 円

復路 航空会社:AirCanada 料金:7,0000円 ∴合計:21,0000 円

航空券購入方法

旅行代理店(店名:HIS(往路)) インターネット(サイト名:) その他(aircanada ホームページから)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート,大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Atkinson residence) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 1 人 (共有スペースをルームメイト共有))

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学側から送られてくるメールに従って住居を探しました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

留学する前にヨーク大学から受け取ったメールには、寮の確保ができたという知らせをもらいましたが、実際は 1 年間オンキャンパスのアパートで暮らすことになりました。アパートには多くの交換留学生が住んでいましたが、学生だけではなく一般の家庭なども住んでいるため少し普通のオンキャンパスの住居とは異なります。また、そのアパートにはキッチンや学生用の共有くつろぎスペースがないため文句を言う人もいましたが、他の寮では一つのフロアでトイレとバスが一つずつしかなく、それをそのフロアにいる男女で共有して使う寮やキャンパス内にある YorkUniversity Subway Station から遠い寮などもあったので、それらと比べれば、地下鉄の駅からも近くバストイレもしっかりと部屋にあった私のアパートはかなり良かった方だと思います。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院,学内の診療所)

なし

あり(治療を受けた場所:私はケガを一度もしませんでした、ねん挫をした友達やインフルエンザにかかった友達は YorkLane の medical centre という小さな病院に行き、診察を受けていました。)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

なし

あり(問題の内容や相談した人等:特に問題はなかったですが、York International が主に留学生の面倒を見てくださっているの何かあればそこに相談すれば大丈夫だと思います。)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

外務省や旅レジなどにメールアドレスを登録して、情報を得るようにしました。例えばコロナウイルスの影響でオンタリオ政府がオンタリオのレストランを全て閉鎖するように指示を出した際や、カナダ政府が国境を封鎖した際などは、それが決まってからすぐにメールが届いたのでとても役に立ちました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

大学内にはフリーwifi があるので大して心配する必要はありません。しかし、ダウンタウンに出るとやはり必ずしもすべての場所に wifi があるというわけではないので現地で SIM カードを買うことをお勧めします。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?

自分のクレジットカードと現地の(大学内にもある)ATM を使って、現金を手に入れていました。銀行口座は自分が必要なかったので作りませんでした。留学生の友達でも作っている子はかなり少なかった気がします。大学内の ATM では visa や mastercard のカード会社であれば使えますが JCB は使うことができないのでその点はあらかじめ注意しておいた方が良いでしょう。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

100 均ショップで売っているコロコロ(簡単に掃除ができるように)、コンタクト洗浄液、スリッパ、箸

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27単位	<input checked="" type="checkbox"/> (今はまだわかりません) 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? ヨーク大学での最高単位数は1年間で36単位までと決められています。また、講義数は4つが平均だそうです。私は秋学期に3つ、冬学期に5つ講義をとりましたが多くの友達にそれは多すぎだよと言われたので、5つとってしまうとかなり大変だと思います。また、留学生は基本1年生の講義をとることになると思います。 さらに、履修をするときに講義によっては、担当の学部事務室にメールを送ったり、事務室に直接行かないと履修できない講義もありますが、メールを送ったり事務室に行くことでその講義をとれる可能性は格段に上がるのでし履修の時に戸惑ったら事務室にまずは連絡してみることをお勧めします。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Development	国際開発学
科目設置学部・研究科	AP/SOSC
履修期間	通年
単位数	9単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とチュートリアル両方(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に240分が1回
担当教授	Eduardo Canel
授業内容	名前の通り、「国際開発学」「国際発展学」について学びます。詳しく言うと、貧困とは何か、何が真の「発展」であるのか、から始まり、先進国と途上国の関係性、途上国へのサポートの仕方、経済発展に伴う環境汚染への代償、ジェンダー問題、途上国と先進国のそれぞれの定義、植民地時代の力関係、ネオリベリズム政策における発展とその代償、グローバリゼーションにおける開発などなど「開発」「発展」に関することをかなり深く学んでいきます。
試験・課題など	秋学期:エッセイ×2、中間試験/ 冬学期:エッセイ×2、期末試験 毎回の講義の予習:主にリーディング チュートリアルの課題:一年でリーディングリスポンズ×4、プレゼンテーション×1(TAによってチュートリアル課題は変わります)
感想を自由記入	この講義で自分の見る世界が変わったといっても過言ではないくらい留学中に一番苦勞し、一番学び、一番考えさせられた講義でした。 国際開発という点を軸にしながらジェンダーや環境、新自由主義政策、植民地主義、資本主義、グローバル化など様々なことに視野を広げて学ぶため、一度にいろいろな知識が得られる本当に素晴らしい講義でした。「国際開発」言うとし難しいイメージがあるかもしれませんが、ほとんど知識のなかった私でもこの講義についていくことができたので一回最初の講義にだけでも顔を出してみることをお勧めします。 また、この講義では意識が高く、いろいろな知識を持っている学生が多かったので自分の勉強に対するモチベーション向上にもつながりました。 (ちなみにこの講義はヨーク大学でも有名であり、すぐに定員オーバーになってしまうと聞いたので取りたい人はできるだけ早く履修することをお勧めします。)

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Fake News, Fact-Finding and the Future of Journalism		フェイクニュースとジャーナリズムについて	
科目設置学部・研究科	AP/COMN		
履修期間	通年		
単位数	6単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とチュートリアルの両方(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	秋:Jonathan Obar 冬:Derek Hrynyszyn		
授業内容	2016年の米大統領選に影響を与えたのではないかとされているフェイクニュースについて、正しい情報の見極め方、ジャーナリズムのありかた、アルゴリズム、アグリゲイター(yahoo news などの一つの場所で多くの情報を提供する場)など様々なことを学びます。		
試験・課題など	秋学期:エッセイ×2、中間試験/ 冬学期:エッセイ×2、期末試験、ミニクイズ×6 毎週の講義の予習:リーディング		
感想を自由記入	<p>ネットや SNS が生活の一部となってきた現在において SNS の使い方やシステム、問題点について学ぶことはとても大切だと思います。この講義はもともと履修するつもりがありませんでしたが、たまたまこの独特な講義の名前に惹かれて受講を決めました。ですが想像以上に講義内容も本当に面白く、私のお気に入りの講義の一つでした。日本だとあまりインターネットやフェイクニュースについて学ぶ機会がない分、本当に履修して良かったと思っていますし、受講する前と比べて自分自身も情報の正確性に注意するようになりました。</p> <p>加えて、この講義はコミュニケーション学科の講義ということもあり、課題で wikipedia を編集したり、yahoo news と google news を比べそれらの傾向性を分析したり、CBCnews の情報源について調べたりと、毎回の課題(エッセイ)が独特でとても面白かったです。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Canadian Language and Culture		カナダの言語と文化	
科目設置学部・研究科	AP/ESL		
履修期間	通年		
単位数	6単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Heejin Song		
授業内容	カナダの多様性について、多様性とは、先住民の歴史、フレンチカナダ、移民、差別などを学びます。		
試験・課題など	秋学期:プレゼンテーション×1、毎回の講義後のオンラインミニ課題、エッセイ×1、 リーディングワーク×2、インクラスライティング×2、V-report×1		
感想を自由記入	<p>講義前のリーディングは特にありませんでしたが、講義後のミニ課題が毎回ありました。そのため、課題の量については大変な部分もありましたが、講義内容としては自分が学びたいと思っていた人種差別やカナダの多様性についてであったので満足しています。移民をたくさん受け入れることによって生じる課題もカナダには多くあるということを学び、これは実際にカナダでしか学べない内容だったと感じているため、この講義に対してもかなり満足しています。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Business, Government and Society	ビジネス、政治、社会への入門
科目設置学部・研究科	AP/POLS
履修期間	冬学期(winter term)
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Sergey Smolnikov
授業内容	株式、株主、会社の仕組み、ビジネス、法、政治とビジネス、ビジネスと社会、社会と政治、それら 3 つの関係祭、多国籍企業などについて学んでいきます。
試験・課題など	冬学期: 中間試験、エッセイ×1、期末試験、リーディングリスポンズ×2 毎週の予習: リーディング
感想を自由記入	正直今まで、株式や株主、ビジネスについて学んだことがなかった分、理解するのに本当に苦労しました。しかし、将来働くときに知っておいたほうが良い法律や権利、経営の仕方などを学べることができ満足しています。また、ヨーク大学はビジネス界でかなり有名な大学であるためその大学で実際にビジネスを学べたことにもとても満足しています。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advancing Oral Communication for ESL Students	口頭表現
科目設置学部・研究科	AP/ESL
履修期間	冬学期 (winter term)
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Mansour Safdari
授業内容	プレゼンテーション、ディベート、スピーチなどを通して英語のコミュニケーション力を上げる講義です。
試験・課題など	冬学期: グループプレゼンテーション×1、1 分間ニューススピーチ×4、2 分間プレゼンテーション×2、パブリックイバリュエーション(TEDtalk に関する課題)、ディベート×1、リフレクションペーパー、など
感想を自由記入	試験がなく、毎回の読み物もない分、かなり受けやすい講義でした。しかし、上記に述べたように、毎週の講義にスピーチやディベート、プレゼンテーションがある分、それらの準備を毎回しなければならなかった点で大変でした。しかし、この講義のおかげでプレゼン力が上がったことは間違いないので取ってよかったと思っています。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
まだ考え中です。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中は 2 年生でしたが、多くの同じ学年の友達がボストンキャリアフォーラムには参加しない一方で、私はボスキャリアに参加しました。もちろん対象は 20 卒や、21 卒の学生にむけた募集が多くありましたが、自分の代に向けられた説明会なども沢山あって、企業について深く知るとても良い機会でした。また就職活動の雰囲気や企業のインターン情報なども得られたことはとても良かったと今でも思っています。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL のために勉強
8月～9月	留学計画書等の作成
10月～12月	留学先決定
2019年 1月～3月	
4月～7月	ビザ獲得、航空券購入
8月～9月	留学開始
10月～12月	中間試験 / TOEIC
2020年 1月～3月	冬学期開始 (コロナウイルスの影響で)早期帰国
4月～7月	ヨークのオンライン講義、オンライン試験 留学終了(4月下旬)
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私にとって今回の長期の留学は高校生のころからの目標の一つでした。

4年間ある大学生活のうちの1年、または半年を海外の大学で過ごしてみる、というのは本当に今しかできない、学生であるうちにしかできないことだと思っています。そして、もちろん留学の経験が与える影響は人によって異なると思いますが、私にとって、このヨーク大学での留学の経験は自分を大きく変えました。本当に世界が広がりました。それは大学の講義による今まで自分が知らなかったことに関する新たな知識の習得や興味のなかった分野への新たな関心、また将来自分が何をしたいのかを知る大きなきっかけにもつながりましたし、日々の生活による今まで感じたことのなかった文化の違いや言葉の壁など留学を通して得たこと、考えさせられたことが山ほどあります。この他にも、自分が想像していた以上に日本語学習をしている人が多いという事実にも驚かされました。

また、私は秋学期と冬学期の両方を同じように過ごすことにもったいなさを感じていた分、秋学期は剣道部と日本語サークルへの参加、日本語検定アシスタントボランティア、coffee break への参加、交換留学生同士の間際交流に力を入れた一方で、冬学期は講義数をさらに増やし、トロント日本語学校での語学ボランティアをはじめ、ヨーク大学で開講されている日本語の講義へのアシスタント参加も始めました。協定留学を申し込むにあたって、TOEFL の学習をはじめ様々な手続きがあり、それらは決して楽なものではありません。ですが、おそらく人生において一生残るであろうこの交換留学生としての留学経験を多くの人に体験してもらいたいですし、挑戦してもらいたいです。

何か質問がある際には国際教育事務室を通して連絡してください。応援しています！

